

ご挨拶

会長 尾立 盛安

平成 29 年 6 月

親鴨会の皆様あつという間に 1 年が過ぎた気がします。
今年の親鴨会総会の記念講演は、長野一隆さんの「魅惑のルネサンス美術」と
岡村久和さんの「IOT」でした。大変なご好評を頂いて主催者として嬉しい
限りです。

世界情勢は北朝鮮が核開発、弾道ミサイルの開発実験を続けて、今後、世界
が特にアメリカのトランプ大統領がどう対応するのか重大な関心事です。
日本も他人事では済まされません。

こうした環境のもとで親鴨会としてどう継続して、生き伸びて行けば良いか、
苦心しています。一つの案として、会員の皆様が持っているお宝です。
あの世の墓場迄は持っていけないので、生きている内に好きな方に譲って、
半額を親鴨会に寄付して頂くよう呼びかけています。

ベルスさんと相談していますが、まだ実現していません。自分の持ち物を
整理していた所、世界名画切手約 1 万点のコレクションが出て来ました。これ
を展示販売する事により親鴨会の資産として活用できる様計画しています。

中山幹事に担当して頂き実験を始めます。ご期待頂くと共に皆様におかれ
ましても眠っているお宝の活用をプランして頂ければ幸甚です。
今回は良いお便りが出来ます様頑張ります。